

脱炭素化等をチャンスととらえた産業振興

# 「ゼロエミッションみえ」 プロジェクト

三重県 戦略企画部

# カーボンニュートラルへの対応 ～地球温暖化の影響・各国の対応～

● 世界的な平均気温の上昇  
産業革命前から1.5℃

● 海面水位の上昇  
20世紀を通じ12～22cm  
出典：IPCC第4次評価報告書(2007)

● 多くの極端な気象  
及び気候現象

## 2015年パリ協定(COP21)

2100年の世界平均気温上昇を、産業革命前から  
**2℃を十分下回る水準で維持、1.5℃を目指す努力**

## 2021年グラスゴー気候合意(COP26)

温室効果ガス排出削減強化  
→**1.5℃以下に抑える努力の追求**

## ● 世界各国で温室効果ガス排出抑制の取組の表明・進展

【2030年までの各国の削減目標 出典:全国地球温暖化防止活動推進センター】

中国	EU	インド	アメリカ
GDP当たりのCO2排出を <b>60-65%</b> 削減 (2005年比)	温室効果ガスの排出量を <b>55%以上</b> 削減 (1990年比)	GDP当たりのCO2排出を <b>45%</b> 削減	温室効果ガスの排出量を <b>50-52%</b> 削減 (2005年比)



(日本の対応)

● 2050年カーボンニュートラル宣言  
(令和2年10月26日)

2030年度に2013年度から**46%削減**、  
さらに、**50%の高みに向けて挑戦**

● 経済財政運営と改革の基本方針  
(骨太方針) 2022 (令和4年6月7日)

官民が協力し計画的・重点的な投資と改革を行い、  
**課題解決と経済成長を同時に実現**

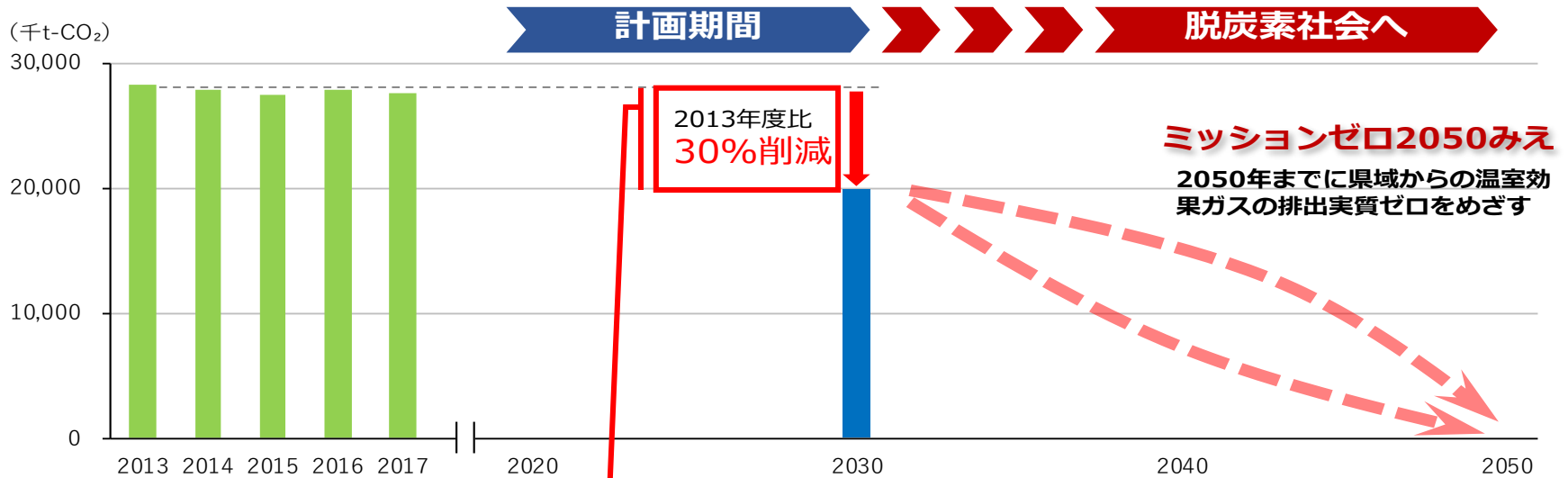
グリーントランスフォーメーション  
(GX)への投資

# カーボンニュートラルへの対応 ～県の動き①～

## 県の取組

### 三重県における地球温暖化対策の推進

- 令和3(2021)年3月に「三重県地球温暖化対策総合計画」を策定
- 温室効果ガス削減の取組や気候変動への適応策を取りまとめ



※国の地球温暖化対策計画(令和3年10月)をふまえ、

**今年度中の改定にむけて、県の削減目標の改定作業中**

### 「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」を中心として 県民運動を展開

- 再生可能エネルギー利用促進
- 脱炭素経営の促進
- COOL CHOICEの推進

2050年までに県域からの温室効果ガス排出を実質ゼロに! 三重県

ミッションゼロ 2050 みえ推進チーム

各分野から脱炭素に取り組む16団体で構成



## ● 産業分野における課題

- ・ 温室効果ガスの削減等と産業・経済の発展との両立が求められるとともに、事業分野や取り巻く環境によりさまざまな課題があることから、その課題や対応方策等について、県をはじめ国や市町とも連携して検討が進められている。

### 具体的には……

- 次世代自動車への移行などによる産業構造の変化への対応
- 脱炭素化に向けた四日市コンビナートの事業構造の大転換
- カーボンニュートラルポート形成に向けた取組
- 新たな再生可能エネルギーの導入
- カーボンリサイクル等の資源循環に向けた対応
- CO2吸収源対策としての森林資源の活用



四日市コンビナート



電気自動車と充電ステーション

温室効果ガスの排出削減や気候変動をリスクとしてだけとらえるのではなく、国のグリーン成長戦略もふまえ、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を産業・経済の発展につなげていく視点が重要

# 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト①

脱炭素社会の実現に向けた対応という世界的な潮流を的確に捉え、  
国のグリーン成長戦略も踏まえ、県内地域産業の成長に向けた絶好のチャンスとし、  
令和8年度までの5年間、「ゼロエミッションみえ」プロジェクトとして、  
次の6つを柱とする取組を強力に推進

脱炭素  
に向けた取組

両立する取組

産業・経済  
の発展  
に向けた取組

自動車分野のEV化等対応  
サプライチェーン再構築

カーボンニュートラル  
コンビナートへの転換促進

カーボンニュートラル  
ポートの整備促進

再生可能エネルギーの  
導入・利用促進

CO2排出削減のための  
高度な技術を活用した  
リサイクル等の促進

CO2吸収源対策を  
契機とした林業の活性化

# 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト②（想定される取組案）

## 6つの柱①②

### ① 自動車分野のEV化等対応、サプライチェーン再構築

- 企業、大学等と連携したEV化等取組支援体制の構築
- EV化等への業態転換や、新産業への展開、DXの促進、CNに関する教育講座開設等、自動車産業を支える中小企業に対するの振興策の検討
- 自動車サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル化に向けた取組への支援
- 次世代自動車関連の生産拠点の誘致検討



### ② カーボンニュートラルコンビナートへの転換促進

- 既存技術の活用に係る生産性向上、水素・アンモニアの活用等の検討
- コンビナート企業によるカーボンニュートラル化に向けた連携事業の検討と実証・実践
- 中部圏水素利用協議会等との連携による水素活用の検討・実証
- コンビナート企業の連携によるコンビナート内のリサイクルセンター設置の検討
- ケミカルリサイクル・マテリアルリサイクルに係る技術開発促進の支援



# 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト③（想定される取組案）

## 6つの柱③④

### ③ カーボンニュートラルポートの整備促進

- 県内港湾におけるカーボンニュートラルポート形成計画の策定
- 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会をはじめ対象港湾と密接に関わる企業との連携強化
- 港湾地域内での、面的・効率的なカーボンニュートラル化に向けた取組の支援
- 水素・燃料アンモニア等の新エネルギー等関連施設受入れの可能性の検討、カーボンニュートラルポート形成計画に基づく環境の整備



### ④ 再生可能エネルギーの導入・利用促進

- 洋上風力発電や海洋エネルギー発電(潮力、海洋温度差等)をはじめとする再生可能エネルギーポテンシャル調査による導入検討の促進
- サプライチェーン等の条件を加味した中部圏における広域導入・利用の連携体制の検討
- 企業・大学等と連携したメンテナンス人材の育成体制の検討
- 再生可能エネルギー関連産業の育成・誘致
- 「太陽光パネルリサイクル拠点」の立地可能性の検討



# 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト④（想定される取組案）

## 6つの柱⑤⑥

### ⑤ CO2削減のための高度な技術を活用したリサイクル等の促進

- 太陽光発電パネル、蓄電池等のさらなる普及を見据えたリユース・リサイクルの検討・実証やリサイクル施設設置の促進
- ケミカルリサイクル・マテリアルリサイクルに係る技術開発の促進
- 焼却施設等における温室効果ガスの排出抑制や分離回収等(CCUS)の技術の実用化の推進
- 農産物・食品残渣を活用したカーボンニュートラル実現と経済価値の創出に係る検討



### ⑥ CO2吸収源対策を契機とした林業の活性化

- 採算性を高めるための木材コンビナート等の整備事業との連携によるバイオマス発電にかかるエコシステムの構築の検討・支援
- 森林の価値を見える化する基準や認証などの仕組みの検討
- ICT等のスマート技術を活用した森林施業の効率化
- 効率的な林業生産活動のための、エリートツリー等の成長に優れた苗木の活用に向けた研究開発
- 非住宅や中高層建築物の木造化などの建築用途や、生活用品など、さまざまな場面における県産材の利用の促進
- プラスチック代替に向けた新素材の開発への支援





## 第2章 基本理念 | 第2節 新しい三重づくり

県民の皆さんが三重に愛着を持ち笑顔で明るく暮らせる新しい三重づくりへ

時代の潮流や三重県を取り巻くさまざまな環境変化に的確に対応  
バックキャストの視点で中長期的な展望のもとに取り組む

懸念されるリスクには的確に対応、チャンスは機を逃さず発展につなげる

懸念されるリスク	未来につながるチャンス
<ul style="list-style-type: none"><li>● 甚大な被害が想定される南海トラフ地震</li><li>● 激甚化・頻発化する豪雨</li><li>● 安全保障リスクの高まり</li><li>● 地球温暖化による農林水産業への影響</li><li>● 新たな感染症の発生</li><li>● 資源制約の深刻化</li><li>● 人口減少、過疎化・高齢化の進展</li></ul> など	<ul style="list-style-type: none"><li>● 広域幹線道路ネットワークの整備の進展</li><li>● 大阪・関西万博の開催（2025年）</li><li>● 神宮式年遷宮（2033年）</li><li>● カーボンニュートラルに向けた技術開発や投資・人材育成の進展</li><li>● デジタル化の進展</li><li>● リニア中央新幹線の開業</li></ul> など

## 第2章 基本理念

### 第3節 基本理念

#### 基本理念:「強じんで多様な魅力あふれる『美し国』の実現」

将来世代も含め、県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸福を感じながら、  
元気に、かつ安全・安心に暮らすことができる持続可能な地域

- 北中部地域においては、交通の利便性やものづくり産業の集積などの優位性を生かし、都市への近接性と良好な生活環境の両方の魅力を兼ね備えた暮らしやすい地域
- 南部地域においては、地域の特性を生かして、観光産業の一層の推進や持続可能な農林水産業、自然の恵みを生かした移住等の促進による豊かな暮らしが実現する地域

#### 現代の「美し国」の実現に向けて

- 防災対策、医療・福祉の充実など、暮らしの安全・安心の確保につながる取組を着実に進めていく
- 未来を担う子どもたちの健全な育成に取り組む
- SDGsやカーボンニュートラル、デジタル化の動きにも対応し、持続可能な地域として発展していく
- 市町をはじめ地域のさまざまな主体と連携しながら地域共生社会の実現に向けた誰もが参画・活躍できる環境づくりを進める
- 人材育成や生産性の向上などにより産業の競争力を高め、地域の活力向上や産業の振興を図る
- 人口減少化における地域社会のあり方について市町と連携しながら検討していく

現在の「美し国」を実現していくためには県民の皆さんの積極的な参画が必要  
共に新しい三重づくりを進めていく

# みえ元気プランで進める7つの挑戦

ビジョンの基本理念の実現に向けて、今後5年間で一層加速させていかなければならない「7つ」の取組

- ① 大規模災害に対応した防災・減災、県土の強靱化対策の加速・深化
- ② 新型コロナウイルス感染症等への対応
- ③ 三重の魅力を生かした観光振興
- ④ 脱炭素化等をチャンスととらえた産業振興**
- ⑤ デジタル社会の実現に向けた取組の推進
- ⑥ 次代を担う子ども・若者への支援・教育の充実
- ⑦ 人口減少への総合的な対応の推進



新たな取組も含め、内容の充実・強化を図り課題の解決に向けて取組を展開